

ASAHIKAWA SECURITY SYMPOSIUM 2025

NEXT STANDARD FROM ASAHIKAWA

Day1 10月30日 (木曜日) 16:00 ~19:30

※18:00~19:30 情報交換会

Day2 10月31日 (金曜日) 10:00 ~17:00

旭川市で、
次世代の地域に必要な
安心安全とはを語る

旭川市初のセキュリティシンポジウム開催

2024年にプレイベントを開催し、北海道内外から 125 名（関係者込み）が来場した本イベント。今年度は、北海道中央部である上川地域における IT およびサイバーセキュリティ意識の醸成、対策の向上、産官学連携強化を図ることを目的として実施します。全国を上回るペースで人口が減る北海道だからこそ、いち早く次の時代に必要な安心安全な地域について語り合い、新しい地域のセキュリティのスタンダードを切り拓く新しいアイデアの種と仲間との絆が生まれるシンポジウムです。

イベント概要

場所：北洋ホール（北海道旭川市4条通9丁目 旭川北洋ビル 8階）

定員：150 名

受付開始：Day1 2025年10月30日（木曜日） 15時～

：Day2 2025年10月31日（金曜日） 9時～

参加費：北海道内に在住/勤務の方 ¥8,000（税込、情報交換会を含む）

北海道外の方 ¥10,000（同上）

※北海道内の学生無料

申込方法：絶賛販売中※公式サイトからPeatixにてお申込みください

主催：旭川セキュリティシンポジウム実行委員会

公式サイトはこちら



講演プログラム



10/30 (木) 16:30-17:15

他人事から自分事に変えるセキュリティ～道央からつながる・つなげる道標～

猪俣 敦夫 氏／大阪大学 教授, CISO

2020年世界中が否応なしに巻き込まれたコロナ禍を経て大きな社会変容が起きたことは記憶に新しい。しかし医療機関や交通機関などサイバー攻撃によって大きな被害を受けたニュースなどは都市部に限った話ではない。特に地方こそセキュリティインシデントの影響は計り知れない。そこで本講演では登壇者が関わった事案をケーススタディとして北海道の中央である旭川を起点として何をすべきか、どんな繋がりを作るべきか、について言及してみたい。



10/31 (金) 10:00-10:45

IoTを活用した防災・減災、地域創生への取組

又江原 恭彦 氏／株式会社ラック MSS統括部 統括部長

IoTを活用したマネージドサービスによる日本国内での防災・減災事業に取り組み始めており、その活動を更に地域創生につなげていく挑戦を進めています。旭川市を中心にした実績についてご紹介し、皆様のご参考になればと思います。



10/31 (金) 11:30-12:15

電力スマートメーターの通信ネットワークを利用したIoT通信サービスについて

田中 敏雄 氏／北海道電力ネットワーク株式会社 企画部 スマートメーターネットワーク事業推進グループ グループリーダー

当社では、全道に374万台を設置した電力スマートメーターの通信ネットワークを活用して、昨年度から各インフラ事業者（水道＝自治体、ガス、灯油配送）向けにIoT通信サービスを提供しているため、本サービスの概要や実績をご紹介します。



10/31 (金) 14:00-14:45

北海道エアポート株式会社におけるサイバーセキュリティ対策事例のご紹介

秋山 重幸 氏／北海道エアポート株式会社 総合企画本部 企画部 情報企画課 担当課長

2019年の会社設立（合併）時から現在まで、弊社ホームページや社内ネットワーク統合において顕在化したサイバーセキュリティの課題、並びにこれまでの主な解決・対応策をご紹介します。皆様のご参考情報として、今後ご活用いただけますと幸いです。

10/31 (金) 15:45-16:30

外国への技術流出のリスク

青山 巧 氏／北海道警察 旭川方面本部 警備課 警備課長

我が国では、令和4年に自律性の向上を柱とする「経済安全保障推進法」が成立しました。技術情報が流出した場合、他国で軍事転用される等、日本の安全保障上のリスクとなります。これを未然に防止するため、日本では現在、官民一体となり経済安全保障に取り組んでいるところ、警察では、企業・アカデミアに対し、実際の検挙事例から情報流出の実態や未然防止対策について情報提供するアウトリーチ活動を推進しています。



主催：旭川セキュリティシンポジウム実行委員会